

「2022年度第1回グリーンチャンネル放送番組審議会」議事の概要

1. 日時 2022年6月12日(日) 11:00～13:30
2. 場所 永代ダイヤビル 1F 大会議室
3. 出席者
委員：石井秀司委員長、小林善一郎副委員長、有吉正徳委員、井口保子委員、塩田忠委員、白川次郎委員、外山みどり委員、山田隆雄委員
放送局側：横山清弘理事長、成沢裕常務理事、鳩山正仁常務理事、山本修理事（兼経営企画部長）、住吉恵編成制作部長
4. 主な議題
 - (1) 【報告】 前回審議会の議事回顧及びその後の取組み
 - (2) 【審議】 2021年12月5日～2022年6月12日の放送番組について
 - (3) 【審議】 指定番組について
 - ① 『G1 NIGHT FOCUS 第66回有馬記念』(2021年12月26日放送)
 - ② 水曜馬スペ！ 『「全力」 蛭名正義』(2022年2月2日放送)
 - ③ 水曜馬スペ！ 『しょこたんの馬図鑑～ゴールドシップ編～ (後編)』
(2022年4月6日放送)
5. 議事概要
 - (1) 【報告】 前回審議会の議事回顧及びその後の取組み
放送局側から以下①②を報告し、委員より了承を得た。
 - ① 2021年第2回放送番組審議会議事概要とホームページ公表日時(2021年12月17日(金) 午前10時)
 - ② 前回放送番組審議会以降の取組み
 - ・ 「グリーンチャンネル放送番組の編集の基準」を遵守した業務執行
 - ・ 海外競馬中継及び関連番組の充実
 - ・ 現場のホースマンに光を当てた放送番組の制作
 - ・ 解説者に専門家(引退調教師など)を起用
 - ・ 出演者に著名人を起用
 - ・ 良質な外部コンテンツの活用
 - ・ BSグリーンチャンネルにおけるデータ放送の開始
 - ・ 新CMキャラクターの起用

(2) 【審議】 2021年12月5日～2022年6月12日の放送番組について

委員の発言、放送局の回答

<中央競馬全レース中継>

- ・今年の日馬ダービー当日のレース映像について、一部、車載カメラの映像が使用されていたが、他の映像と比較して画質が悪いと感じた。
- ・パドック映像について、すべての競馬場において、定点カメラで競走馬の側方（横からの姿）を放映できないか。現在は競馬場によってカメラアングルが異なっていることにストレスを感じる。

⇒主催者（JRA）から提供されている映像を使用しているため、頂戴した意見については、グリーンチャンネルとしてもしっかりと JRA 関連部門に伝えたい。

- ・パドック解説の冒頭で場名、レース番号だけでなく競走名・距離なども読み上げてもらおうと、視聴者にとって親切であると感じる。

⇒現在の番組進行の中で対応できるかどうか検討したい。

<海外競馬中継>

- ・海外競馬中継について、レースや競馬場の映像に加えて、競馬場が所在する地域の風景映像等も加えて、より一層、文化としての外国競馬という切り口で紹介してみたい。

⇒新型コロナ感染拡大前は海外競馬に関連した紀行番組を放送していた。今後、現地の状況を勘案しながら、可能な範囲で地域風景も含めた番組内容を制作できないか検討したい。

<競馬場の達人>

- ・番組を楽しく拝見している。馬券を買う以上、勝ち負けの話がつきものだが、出演者が馬券を通じて見せる表情に、視聴者の方も共感する部分が多いのではないかと。馬券の結果にこだわりすぎず、出演者が長く競馬を楽しんでいるエピソードなどを紹介すると、番組としてより深みが出るのではないかと。

⇒貴重なご意見として頂戴したい。

<馬術・畜産番組>

- ・馬術や畜産関連番組について、その業界関係者にとって関心が高い内容であるにもかかわらず、グリーンチャンネルで放送していることを知らない方が少なくない。より多くの関係者に視聴してもらうため、業界誌等で告知広告等を掲載してみたい。

⇒貴重なご意見として頂戴したい。

<その他>

- ・グリーンチャンネル会員の年齢分布はどうなっているのか。年齢構成を意識した番組作りを行ってほしい。

⇒放送系（テレビ）の会員構成は、40代以上の会員が約9割を占めている。一

方、WEB系の会員構成は、20代から40代までの会員が約7割を占めている状況。年齢構成を勘案した番組作りを進めてまいりたい。

(3)【審議】指定番組について

①『G1 NIGHT FOCUS 第66回有馬記念』（2021年12月26日放送）

委員の発言、放送局の回答

- ・解説者が、初心者にも大変わかりやすく説明してくれており、非常に良い番組であると感じた。
- ・レース当日に、制作時間が限られている中で、複数の関係者に出演してもらって放送する番組であることを考えると質が高い番組であると感じた。
- ・番組内でパドックを振り返って解説するコーナーがあったが、すでにレース結果が判明した後に解説することにどれだけ意味があるのか疑問に感じた。解説する方も話しづらかったのではないかと感じた。
⇒今後も改善できる部分に対応し、ダービー、有馬記念を中心に本番組を制作していきたい。

②水曜馬スペ！『「全力」蛭名正義』（2022年2月2日放送）

委員の発言、放送局の回答

- ・第一印象として、非常にお行儀のよい、言葉遣いが丁寧な番組という印象を受けた。反面、もっと、蛭名さんの本音を聞き出して欲しかったと感じた。
- ・番組前半の蛭名さんの騎手時代を振り返る場面では、映像素材も揃っていて素晴らしい内容であった。その分、後半に蛭名さんが今後の調教師としての立場を語る場面では、どのような考えをお持ちなのかもっと深い話を聞きたかった。
- ・本番組とは直接関連しないが、実績のある騎手・調教師だけでなく、例えば初めてG1レースを勝利した調教師等に焦点を当てた番組を制作し、より多くの方に調教師を知ってもらえないだろうか。個人的所感だが、騎手は知っているが調教師を知らないという人が多いと感じている。
⇒頂戴したご意見を今後の番組作りの参考としたい。

③水曜馬スペ！『しょこたんの馬図鑑～ゴールドシップ編～（後編）』

（2022年4月6日放送）

- ・本番組については賛否両論いろいろな意見が寄せられたと聞いたが、しょこたんのような独特な言葉遣い（ゴールドシップをゴルシと短縮して呼ぶ等）をされる方が出演しており、非常に楽しく番組を視聴できた。特に若い視聴者の方々にとっては興味深い番組ではなかっただろうか。
- ・番組内に出てくる競馬専門用語、例えばパドックという用語が使われた際に、パ

ドックを説明するナレーションが入れば、よりわかりやすい番組となったのではないか。

- 番組内でビッグレッドファーム、雪景色、調教施設等を見ることができて良かった。新型コロナの影響で牧場見学できない時期が続いており、番組を通して牧場見学している気分になることができた。
- 無料放送の時間帯に、このような番組を放送できないものか。競馬と直接関係する内容ではないが、若い方など多くの方々に見て頂く機会を設けた方がよいのではないか。

⇒貴重なご意見として頂戴したい。

以上